

基本方針4 スポーツ環境の充実

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得た内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価														
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	目標	年度	区分	計画	実績				
(1) 指導者の育成・ボランティア機会の充実	① 指導者の育成	スポーツ指導員等の資質向上	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ協会	実施計画						目標	専門的な知識を有する指導者を育成することで、競技に取り組む選手の競技力向上や指導体制の充実につなげる。					
				関係団体等		年度	R3	R4	R5	R6	R7	区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				事業内容	各種スポーツの指導者の資質と指導力の向上、新たな指導者の育成を図るための講習会等を行う。	計画	講習会実施回数2回 参加者数30人	講習会実施回数2回 参加者数35人	講習会実施回数2回 参加者数40人	講習会実施回数2回 参加者数45人	講習会実施回数2回 参加者数50人	実績	(スポーツ協会) 指導者講習会 コロナ禍により中止	指導者講習会 2回 参加者数59人				
				成果	競技団体やスポーツ少年団指導者を対象とした講習会が計画通り実施できた。スポーツメンタルトレーニングを研究する大学教授とスポーツプログラマー有資格者を講師に迎え、「パフォーマンスアップの為の自己理解」と「未来から託されたスポーツへの期待」を題材とした講習会とした。													
				課題	時代に沿って、関心の高いテーマを基に講習会の計画を進めること。													
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった												
	② スポーツ協会との連携	指導者人材バンク	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ協会	実施計画						目標	新たな指導者の発掘・育成につなげ、競技スポーツの指導体制の充実につなげる。					
				関係団体等		年度	R3	R4	R5	R6	R7	区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				事業内容	競技団体等と連携を図りながら競技別指導者の情報を集約し、ニーズに応じて、指導者を派遣する「指導者人材バンク制度」を活用する。	計画	指導者派遣数 10件	指導者派遣数 10件	指導者派遣数 13件	指導者派遣数 13件	指導者派遣数 15件	実績	指導者派遣数 12件	指導者派遣回数 1件				
				成果	人材バンク制度を活用し、指導者の派遣を行うことで、中学校部活動の充実に向けた支援を行うことが出来た、													
				課題	更なる事業の拡大に向けて、周知や事業の確保にとりくむ必要がある。また、中学校部活動の地域移行に対応できるか否かの検討も必要と考える。													
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった												
③ スポーツボランティア機会の充実	スポーツボランティアの積極的活用	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画						目標	新たなスポーツボランティアの発掘・育成を図り、スポーツを支える人材確保につなげる。						
			関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ	年度	R3	R4	R5	R6	R7	区分	継続	継続	継続	継続	継続		
			事業内容	県が運営する「ゲームコンダクターSHIGA」等を通じて、市民のボランティア参加者の拡大を図るとともに、各種スポーツイベント等を通じて、ボランティア機会の充実を図る。	計画	登録者数 30人 派遣者数 30人	登録者数 100人 派遣者数 100人	登録者数 150人 派遣者数 150人	登録者数 200人 派遣者数 200人	登録者数 300人 派遣者数 300人	実績	登録者数 27名 実施回数 30回 小学生バレーボール教室補助	登録者数 27名 実施回数 30回 小学生バレーボール教室補助					
			成果	登録者の活動により、スポーツ教室の円滑な運営を行うことが出来た。														
			課題	登録者の増加を図るために、スポーツボランティアの周知を行う必要がある。														
			評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった													

基本方針4 スポーツ環境の充実

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得る内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価											
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	目標	年度	区分	計画	実績	
(2) スポーツ推進委員活動の推進	① 地域のスポーツ活動の推進	スポーツ推進委員指導力向上事業	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ推進委員協議会										
				関係団体等											
				事業内容	滋賀県スポーツ推進委員協議会等が主催する各種研修会への参加や、スポーツ推進委員相互の連携・交流を図り、スポーツ推進委員活動を推進する。										
				成果	今年度はほとんどの研修会が開催され、参加することで指導力向上に務めた。また、スポーツ推進委員全国協議会が滋賀県での開催で、会場の一つが草津市であったことから、全国から多くの仲間を迎え入れ、草津市の委員の気運も高めることができた。										
				課題	全国協議会の開催という大きな行事を乗り越え、今後も気運の高まりを維持すべく、さらに指導力の向上に努めていく必要がある。										
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった									
					実施計画										
					目標	スポーツ推進委員の指導力向上を図り、地域におけるスポーツのコーディネータとして各地域のスポーツ活動を推進する。									
					年度	R3	R4	R5	R6	R7					
					区分	継続		継続		継続		継続		継続	
					計画	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回		研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回		研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回		研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回		研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回	
					実績	研修会参加回数 1回 ・近畿 自己研修会回数 1回 ・モルック研修会		研修会参加回数 4回 ・いきいき、県、近畿、全国 自己研修会回数 2回 ・ニュースポーツ研修会 ・新体力測定研修会 ・普通救命講習							
(2) スポーツ推進委員活動の推進	② 地域各種団体等との連携によるスポーツ活動	スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ推進委員協議会										
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、各体育振興会、各地域スポーツクラブ										
				事業内容	地域の各種団体等が行うスポーツ活動に積極的に協力し、より効率的・効果的なスポーツ活動を推進する。										
				成果	新型コロナウイルスの影響から中止された協力事業もあったが、びわ湖マラソン大会など新たな事業も加わり、協力事業の幅が広がった。また、各種団体の依頼により、ニュースポーツの出前講座を実施し、市民にニュースポーツ等の普及・推進を図ることができた。										
				課題	出前講座の依頼を受けるにあたり、指導できるニュースポーツの種目の幅をより広げ、依頼者のニーズに応えられるよう、様々な種目の研修会を行い、指導力向上に努める必要がある。										
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった									
					実施計画										
					目標	スポーツ推進委員の積極的な協力により、地域等におけるスポーツ活動の活性化につなげる。									
					年度	R3	R4	R5	R6	R7					
					区分	継続		継続		継続		継続		継続	
					計画	協力事業数 4 出前講座回数 3回		協力事業数 4 出前講座回数 3回		協力事業数 4 出前講座回数 3回		協力事業数 4 出前講座回数 3回		協力事業数 4 出前講座回数 3回	
					実績	協力事業数 0 出前講座回数 3回 ・渋川やすらぎ学級 1回 ・なかよしひろば 2回		協力事業数 4 (駅伝、びわ湖マラソン、ランフェス、スペシャルスポーツのひろば) 出前講座回数 4回 (プリムタウン歩こう会、渋川やすらぎ学級、山田学区体振、山田やすらぎ学級)							
(3) スポーツ情報発信	① ホームページやSNSの充実	ホームページやSNSを活用した情報発信	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体、スポーツ協会、くさつ健・交クラブ										
				関係団体等	スポーツ推進委員協議会										
				事業内容	利用者のニーズを踏まえて、各団体HP等情報発信手段の充実に努めることで、より多くの利用者に適した情報発信の拡充を図る。										
				成果	小学生スポーツ教室の参加申し込みをHPで行えるよう改良し、申込者が時間を気にせず申し込みが出来るようになった。またSNSを活用した情報発信に努めた。										
				課題	HPについては、更に利用者が使いやすいよう改良していく。またSNSについては、例えば、(仮称)草津市立プールや国スポ・障スポなど新たな発信者との連携も模索することでより多くのフォロワーに情報を届ける工夫をしていく必要がある。										
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった									
					実施計画										
					目標	市民の多様なニーズに応じたスポーツ情報の発信に努め、市民のスポーツに対する関心の高まりにつなげる。									
					年度	R3	R4	R5	R6	R7					
					区分	継続		継続		継続		継続		継続	
					計画	・HPの充実 ・SNSの活用		・HPの充実 ・SNSの活用		・HPの充実 ・SNSの活用		・HPの充実 ・SNSの活用		・HPの充実 ・SNSの活用	
					実績	OHPの充実 ・新HPへの移行 1団体 ○SNSの活用 ・Twitter活用 1団体 ・Facebook活用 2団体 ・LINE活用 1団体		OHPの充実 1団体 ○SNSの活用 ・Twitter活用 1団体 ・Facebook活用 2団体 ・LINE活用 1団体							

基本方針4 スポーツ環境の充実

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得る内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価													
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	目標	年度	区分	計画	実績			
② 各種情報メディアを活用した情報発信の充実	各種情報メディアの活用	各種情報メディアの活用	スポーツ推進課	実施主体	草津市、草津市スポーツ振興事業体							実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会							目標	市民がスポーツ情報に接しやすい環境を整え、市民の積極的なスポーツ活動への参画につなげる。				
				事業内容	市内のスポーツイベントや、各スポーツ関係団体等の活動状況等の情報を各種情報メディアやツールの活用を図ることで、スポーツ情報のより効率的・効果的な発信を行う。							年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	各種イベントの機会に記者への資料提供を行ったほか、ラジオ番組を通じてスポーツイベントの情報や施設の紹介等を行うことができた。ラジオでは毎月テーマを変えて放送される番組の枠をいただき、事業等の紹介をし、イベントで回収したアンケートでは、ラジオを聞いて参加したという人もあった。							区分	継続				
				課題	今後とも各種メディアへの情報提供を行うとともに、ラジオ番組等を通じてスポーツ情報を発信し、市民のスポーツ活動の促進を図る。							計画	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行
				評価	4	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった					実績	○各種情報メディアやツールの活用 ・新聞掲載 1名、1団体 ○スポーツ情報誌発行(2回)※コロナ禍により紙媒体ではなく、WEB版発行	○各種情報メディアやツールの活用 ・記者資料提供 13回 ○スポーツ情報誌発行 3回 ○ラジオ番組の放送(FMくさつKUSATSU SPORTS GALLERY)				
① 社会体育施設・一	オンライン施設予約システム	オンライン施設予約システム	スポーツ推進課	実施主体	草津市							実施計画					
				関係団体等	草津市スポーツ振興事業体							目標	システム導入を通して、利用者の利便性や施設の利用率の向上を図る。				
				事業内容	利用者の利便性向上や施設の利用率向上に向けて、オンライン施設予約システムの導入検討を行います。							年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	システム構築のため、関係部署や事業者と連携を図りながら、必要な仕様等にかかる情報共有を図った。							区分	新規				
				課題	他市の先進事例等を研究しながら、キャッシュレス対応等の課題について引き続き検討を進める必要がある。							計画	システム構築の検討	システム構築の検討	システムの運用開始	オンライン申込数10万件	オンライン申込数15万件
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった					実績	システム構築の検討	システム構築の検討				
① 社会体育施設・一	社会体育施設等整備改修事業(再掲)	社会体育施設等整備改修事業(再掲)	スポーツ推進課	実施主体	草津市							実施計画					
				関係団体等								目標	社会体育施設の適正な機能を維持していくことで、誰もが快適にスポーツができる環境を整える。				
				事業内容	スポーツができる場所として社会体育施設の適正な機能維持やユニバーサルデザイン化に向けた必要な改修等を行う。							年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	総合体育館屋根・床板改修工事や空調の取り換え工事を実施したほか、次年度工事に向け必要な実施設計等を行った。また、山寺健康広場の老朽化した藤棚の撤去などの緊急修繕も実施した。							区分	継続				
				課題	市内社会体育施設の機能維持のみならず、経年により老朽化が進む付帯施設や、現存の施設への改善要望に対する対応等を計画的に実施し、より市民が利用しやすい施設にしていく必要がある。							計画	必要な整備・改修 ・野村運動公園管理棟外部階段改修工事	必要な整備・改修 ・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟空調取替工事 ・ふれあい体育館管理室空調改修工事	必要な整備・改修 ・体育施設空調設備改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟改修工事 ・ふれあい体育館床・外壁他改修工事	必要な整備・改修	必要な整備・改修
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった					実績	・野村運動公園管理棟外部階段等塗装補修 ・総合体育館大屋根固定ボルトキャップ部のシーリング修繕 ・総合体育館屋根・床板改修実施設計	・総合体育館屋根・床板改修 ・野村運動公園グラウンド管理棟、ふれあい体育館管理室空調改修 ・次年度工事の実施設計 ・山寺健康広場藤棚撤去 ・野村グラウンドバックネット改修 ・常盤東健康広場フェンス補修 ・野村グラウンド、三ツ池テニスコートダッグアウト設置				

基本方針4 スポーツ環境の充実

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得た内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価		
(4) 社会体育施設等の整備・充実	園等の整備・充実	(仮称)草津市立プール整備事業	プール整備事業推進室	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	滋賀県水泳連盟 他	目標	水泳競技等の更なる競技力の向上と、スポーツを通じた市民・県民の健康づくりの推進につなげる。				
				事業内容	令和7年開催予定の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場として、また、大会後においても「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るための施設として、(仮称)草津市立プールの整備を進める。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	(仮称)草津市立プール整備・運営事業について、令和4年4月以降、施設の建築工事に着手し、令和6年度の供用開始に向けた事業進捗を図った。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	令和7年に開催予定の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会、また、大会後の施設利用も見据え、施設整備を進める必要がある。	計画	(仮称)草津市立プールの整備	(仮称)草津市立プールの整備	(仮称)草津市立プールの整備	(仮称)草津市立プールの整備・運営	(仮称)草津市立プールの運営
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	(仮称)草津市立プール整備・運営事業に係る事業契約を締結	(仮称)草津市立プール整備・運営事業について、施設の建築工事に着手		
	児童公園等再整備事業	公園緑地課	実施主体	草津市	実施計画						
			関係団体等	各町内会	目標	利用者ニーズに合った公園の再整備を行うことで、子どもの外遊びの機会を増やし、基礎体力の増進につなげる。					
			事業内容	児童公園・児童遊園の老朽化対策として、地元町内会の意見等を聴くことで、利用者ニーズの把握に努めながら、再整備(リニューアル)、改修を行う。	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
			成果	児童公園・児童遊園の老朽化対策として、公園の再整備(リニューアル)を行った。その結果、利用者が安全かつ快適に公園を利用できるようになった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続	
			課題	市内には、300箇所以上の公園が存在するため、計画的に老朽化対策を実施していく必要がある。	計画	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	
			評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	公園再整備 8箇所 ・青地大定木児童遊園 ・青地後町第三児童遊園 ・野村西公園 ・南笠第二児童遊園 ・南笠山口児童遊園 ・西矢倉辻海道児童遊園 ・下笠北松原児童遊園 ・はさま公園	公園再整備 6箇所 ・野村上十九児童遊園 ・野村東公園 ・草津筋違児童遊園 ・上笠堤児童遊園 ・山寺新田児童遊園 ・木川砂池児童遊園			
	②施設のユニバーサルデザイン化等の推進	社会体育施設等整備改修事業(再掲)	スポーツ推進課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	社会体育施設の適正な機能を維持していくことで、誰もが快適にスポーツができる環境を整える。				
				事業内容	スポーツができる場所として社会体育施設の適正な機能維持やユニバーサルデザイン化に向けた必要な改修等を行う。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	総合体育館屋根・床板改修工事や空調の取り換え工事を実施したほか、次年度工事に向け必要な実施設計等を行った。また、山寺健康広場の老朽化した藤棚の撤去などの緊急修繕も実施した。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	市内社会体育施設の機能維持のみならず、経年により老朽化が進む付帯施設や、現存の施設への改善要望に対する対応等を計画的に実施し、より市民が利用しやすい施設にしていける必要がある。	計画	必要な整備・改修 ・野村運動公園管理棟外部階段改修工事	必要な整備・改修 ・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園グランド管理棟空調取替工事 ・ふれあい体育館管理室空調改修工事	必要な整備・改修 ・体育施設空調設備改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟改修工事 ・ふれあい体育館床・外壁他改修工事	必要な整備・改修	必要な整備・改修
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	・野村運動公園管理棟外部階段等塗装補修 ・総合体育館大屋根固定ボルトキャップ部のシーリング修繕 ・総合体育館屋根・床板改修実施設計	・総合体育館屋根・床板改修 ・野村運動公園グランド管理棟、ふれあい体育館管理室空調改修 ・次年度工事の実施設計 ・山寺健康広場藤棚撤去 ・野村グラウンドバックネット改修 ・常盤東健康広場フェンス補修 ・野村グラウンド、三ツ池テニスコートダッグアウト設置		

基本方針4 スポーツ環境の充実

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得た内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施計画	目標	年度	区分	計画	実績	
③ 地域まちなづくりセンター等の活用	地域まちなづくりセンター貸館事業	地域まちなづくりセンター	まちづくり協働課	実施主体	草津市、各学区まちづくり協議会					
				関係団体等						
				事業内容	地域まちなづくりセンターにおいて各諸室の貸館を行い、健康体操やダンス等の運動・スポーツができる場所を提供する。					
				成果	健康体操やダンス等のスポーツ、軽運動ができる場所として、市内にある14の地域まちなづくりセンターで諸室の貸館を行った。その結果、多数の方が気軽に運動・スポーツができる場所の充実につなげた。					
				課題	多様な主体による利用を通して、地域の交流や連帯感の醸成、地域振興に繋げていく。					
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった				
				実施計画	目標	地域まちなづくりセンターの貸館を通じて、市民が身近に運動・スポーツができる場所や機会の充実につなげる。				
				年度	R3	R4	R5	R6	R7	
				区分	継続		継続		継続	
				計画	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館	
				実績	貸館施設 14館	貸館施設 14館				
(5) 学校体育施設開放の充実	① 学校体育施設開放の充実	学校体育施設開放事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市					
				関係団体等	くさつ健・交クラブ、各地域スポーツクラブ					
				事業内容	小中学校の体育館およびグラウンドを学校教育に支障がない範囲で、スポーツ等の活動場所として開放し、広く市民に身近なふれあいの場や情報交換の場の提供を行う。					
				成果	新型コロナウイルス感染症対策を実施しつつ、学校体育施設の開放を通じて、市民が気軽にスポーツができる場所の充実につなげた。また、利用希望が重複している利用時間枠を少しでも解消するため、令和5年度より新たに中学校の武道館を開放すべく準備を進めた。					
				課題	一部解消されたものの、利用希望が重複している学校や利用時間があることから、よりよい基準等の検討を続ける必要がある。					
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった				
				実施計画	目標	身近な場所でスポーツができる環境を整えることにより、市民の活発なスポーツ活動につなげる。				
				年度	R3	R4	R5	R6	R7	
				区分	継続		継続		継続	
				計画	利用団体数 計300団体 利用者数 計5,000人	利用団体数 計300団体 利用者数 計5,000人	利用団体数 計300団体 利用者数 計5,000人	利用団体数 計300団体 利用者数 計5,000人	利用団体数 計300団体 利用者数 計5,000人	
				実績	利用団体数 計304団体 ・グラウンド 56団体 ・体育館 248団体 利用者数 計4,869人 ・グラウンド 1,054人 ・体育館 3,815人	利用団体数 計309団体 ・グラウンド 55団体 ・体育館 254団体 利用者数 計4,839人 ・グラウンド 1,088人 ・体育館 3,751人				
(6) 企業・大学等管理施設の有効活用	① 企業・大学等管理施設の有効活用	企業等管理施設の一般開放	スポーツ推進課	実施主体	草津市					
				関係団体等	企業等					
				事業内容	市内のスポーツができる場所を充実させるため、企業等と連携・協力し、企業等が保有する体育施設の市民への一般開放を検討する。					
				成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が一部中止となったことから例年通り利用ができなかったものもあるが(例年であればチャレンジスポーツデー等で利用)、市民体育大会等での立命館大学の利用や、また新たに完成したJ-FREEパークが地元等にも開放された。					
				課題	企業の施設を利用することは不特定多数の入退場を許可しなければならないというセキュリティ上の大きな課題がある中でどう利用可能な施設を増やしていくかが課題となっている。					
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった				
				実施計画	目標	体育施設を保有する企業の協力を得て、より市民が身近にスポーツができる場所の充実につなげる。				
				年度	R3	R4	R5	R6	R7	
				区分	継続		継続		継続	
				計画	協力企業等 2企業	協力企業等 2企業	協力企業等 2企業	協力企業等 2企業	協力企業等 2企業	
				実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用はなかったが年度末にJ-FREEパークが完成。	協力企業等 2企業				